

受賞おめでとうございます!!

◆ 令和7年度 北海道産業貢献賞（農業関係功労者）



2月16日（月）札幌市内のホテルにおいて、令和7年度北海道産業貢献賞（農業関係功労者）の表彰式が行われ、網走市農業委員会会長職務代理者の山本登さんが受賞されました。

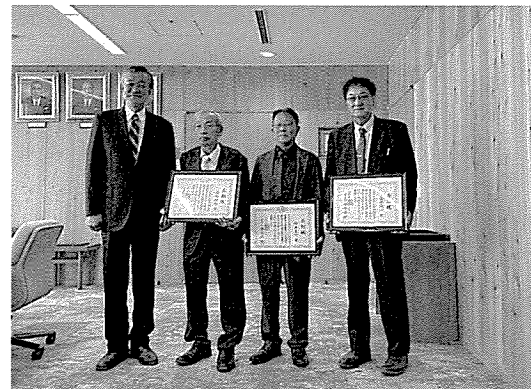
この賞は、多年にわたり農地の適正利用や会務運営の向上に貢献し、その活動が北海道の農業発展に顕著な功績を挙げたものと認められる者に対し北海道知事が表彰するもので山本代理の7期21年に渡るこれまでの農業委員としての活動や実績、貢献が認められたもので当日は加納副知事から表彰状と記念品が授与されました。

◆ 網走市表彰（地方自治功労）

第1回総会の開催に先立ち、網走市表彰（地方自治功労）の表彰式が行われ、今回で退任する5名の委員のうち、12年以上農業委員を務められた居内和則さん、遠藤優一さん、鈴木圭一さん（いずれも4期12年）の3名に市長から表彰状が授与されました。この賞は、地方自治の振興・発展、産業経済の振興などに著しい功績があったと認められる方に対し表彰をするものです。

第25期をもって退任された5名の委員は、今回受賞された3名のほか、矢萩一毅さん、相馬正人さんです。

今まで、ありがとうございました。



◆ 令和7年度 オホーツク優良農村青年表彰



オホーツク優良農村青年表彰受賞者が決定となり、今回、網走市からは永瀬寛朋さんが受賞されました。この表彰は、オホーツク農業委員会連合会が主催するもので、過去3年以上農業経験を有する農村青年で将来も継続して農業を営むと認められ、農業技術の普及推進及びグループ活動の指導能力を有し、他の模範となる方を対象として、毎年実施されています。今回は、管内各市町村から永瀬さんを含む16名の方が表彰されました。

全国農業新聞

全国農業新聞を購読しましょう

全国農業新聞は、農業者の公的代表機関である農業委員会組織が発行する農業総合専門紙です。毎週金曜日の発行で、経営とくらしに役立つ一週間の情報が、わかりやすいよう解説的にまとめられています。また、家族全員が楽しめる記事や各都道府県支局の地方版の記事も充実した内容となっています。

*購読料：月額900円（送料、税込み）購読申込みは農業委員会事務局まで

編集
文責

網走市農業委員会（農政常任委員会・事務局）

〒093-8555 網走市南5条東1丁目10番地 3階17番窓口
電話：0152-43-2030（直通）FAX：0152-43-2957
E-mail：ZUSR-NOGYO@city.abashiri.hokkaido.jp

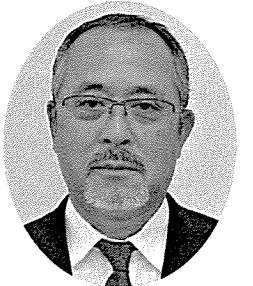
網走市 農業委員会だより

会長就任のご挨拶

網走市農業委員会

会長 山田 健一

第66号
令和8年8月発行



初夏の候、皆さま方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、農業委員の改選に伴い7月21日開催の第1回網走市農業委員会総会において委員各位のご推挙をいただき、引き続き網走市農業委員会会長に就任いたしました。農業委員としては10期目、会長としては4期目となりますが、また新たな気持ちで職務に専念し網走農業の振興のため努力してまいります。

まずは、委員各位をはじめ、平素より農業委員会の活動に対し特段のご理解、ご協力を賜っております農業者の皆さま、関係機関の皆さまに、心より厚く御礼を申し上げます。

今年は平年に比べ降雪量が少なく、好天が続いたことから、早い雪解けに加え、土壌凍結も浅いため、農作業も順調に始まり、6月には適量の降雨もあり、小麦については品質・量ともに計画を上回り、芋・ビートについても豊作が期待されるところであります。

さて、昨今の日本を取り巻く情勢は、長く続いた景気の低迷からの脱却の兆しが見られるものの、世界情勢により物価の上昇に賃金が追いついておらず、農業においても、ここ数年の資材・燃油・資料の高騰が経営を圧迫している中で、気候変動や中東情勢の不安定さが増し、先が見通せない状況が続いております。

また、先に発表された2026年国勢調査の速報値で、北海道の人口は調査開始以来最大となる5年間で約24万人の減となり、人口減少社会の到来による担い手、労働力不足に拍車がかかり、農業を含む基幹産業が衰退してしまうことが不安視されるなど、深刻な現状が改めて浮き彫りとなっております。

農業委員会としましても持続可能な強い農業基盤を維持していくため、引き続き、関係機関との連携を図りながら、農地利用権の設定・移転に係る地域調整、集積・集約化、法人化や新規参入の促進など所掌業務について、一層取り組んで参りたいと考えております。

皆様方におかれましては、健康に十分ご留意され、本年も実り豊かな出来秋を迎えられますよう心からご祈念申し上げます。

農業委員の活動状況等（令和8年1月～令和8年7月）

◆ 市長との意見交換会を開催しました



日時：令和8年1月23日（金）午後4時より

場所：網走市役所 5階 市議会議場

1月23日（金）、水谷市長と農業行政に関する意見交換会を開催しました。この意見交換会は、農地利用の最適化の推進に資することを目的に、平成28年度から開催しており、今回で8回目となります。

当日は「肥料・飼料・生産資材・燃料等の高騰対策」や「家畜伝染病の対策」などを含む合計9項目のテーマで実施し、出席した委員からは、それぞれのテーマが抱える課題に対応するための提案などがあり、市長と活発な意見交換が行われました。

◆ 道内農業行政視察を実施しました

日時：令和8年6月15日（月）～6月17日（水）
場所：① 北日本スカイテック(株)【北広島市】
② (有) ほなみ【空知郡南幌町】
③ 北海道農政事務所【札幌市中央区】



③【北海道農政事務所】



②【(有)ほなみ】



①【北日本スカイテック(株)】

今年の道内視察は、16名の委員が参加し、上記の日程で3カ所視察しました。

①の北日本スカイテック（株）では、産業用無人航空機（無人ヘリコプター・ドローン）を扱っており、机上説明の後、ドローンのデモフライトを見学し、散布する量や位置情報に加えスピードまで、全てアプリでの管理となっていることの説明を受け、価格など様々な質疑に対して全て回答いただき、大変参考になる視察となりました。

②（有）ほなみでは、事業内容のほか、法人化のメリットやデメリット等の説明を受け、各委員からは従業員を確保する対策等について多く質問され、ほなみでは昔ながらの感覚ではなく目に見える化するなど働きやすい環境を整えれば、求人はあるものと考えたとの回答もあり、経営に対する様々な実態を感じる視察となりました。

③北海道農政事務所では、令和9年度からの新たな水田対策の基本的な考え方や仕組みに関する話や食料システム法の目的や効果などの説明を受け、フェアプライスプロジェクトやコスト指標による価格の指導などを確認し、制度に対する理解を深めました。

それぞれの施設での先進的な活動や取り組みなどを直に見て感じることができ、これまで疑問だった点についても、ある程度の解消が図られ、有意義な視察となりました。

◆ 第26期網走市農業委員会第1回総会を開催しました

日時：令和8年7月21日（火）午前10時より
場所：網走市役所 3階 会議室

市役所3階会議室において、第26期網走市農業委員会第1回総会が開催されました。当日は、総会に先立ち、市長応接室において、議会の同意を得て選任された17名の農業委員に対し、水谷市長から辞令書が交付されました。

総会は、年長の山本登委員が臨時議長を務め、会長を互選。その後は、会長に就任した山田健一委員が議長となり議事を進行し、会長職務代理者には山本登委員が互選されました。そのほか農地・農政常任委員の選任や各委員の担当区域について審議を行いました。



第26期農業委員をご紹介します

令和8年7月に農業委員が改選され、新たな体制（第26期）となりました。
委員任期は、令和8年7月20日から令和11年7月19日までの3年間です。どうぞよろしくお願いいたします。

（委員：五十音順）

委員氏名		担当する地区	委員氏名		担当する地区
	会長 山田 健一	音根内、浦士別、栄、清浦		佐藤 慎哉	中園、豊郷、山里、稲富
	会長職務代理者 山本 登	美唄、卯原内、越歳、嘉多山、二見ヶ岡		首藤 勝広	向陽ヶ丘、明治、潮見、二ツ岩、八坂、天都山、呼人、東網走、都市計画（用途地域）
	安達 耕平	北浜、丸万、音根内、浦士別、栄、清浦		谷口 武寛	能取、卯原内、嘉多山、越歳、平和、二見ヶ岡
	遠藤 政昭	向陽ヶ丘、明治、潮見、二ツ岩、八坂、天都山、呼人、東網走、都市計画（用途地域）		中川 一弘 （農地常任委員長）	美唄、能取、嘉多山、越歳、平和、二見ヶ岡
	遠藤 康範	豊郷、鱒浦、藻琴、昭和、山里、稲富		福田 稔	北浜、丸万、実豊
	鬼塚 秀明 （農政常任副委員長）	美唄、能取、平和、卯原内		藤田 政揮	北浜、丸万、実豊
	鎌田 直人 （農地常任副委員長）	豊郷、鱒浦、藻琴、昭和		松尾 貴子	向陽ヶ丘、明治、潮見、二ツ岩、八坂、天都山、呼人、東網走、都市計画（用途地域）
	川崎 伸弘 （農政常任委員長）	中園、鱒浦、藻琴、昭和、山里、稲富		渡辺 郁也	音根内、浦士別、栄、清浦、実豊
	川尻 秀一	向陽ヶ丘、明治、潮見、二ツ岩、八坂、天都山、呼人、東網走、都市計画（用途地域）	* 農地の権利移動（賃貸借・売買のあっせん）や、農業者年金の加入などでご不明な点がある時は、お近くの農業委員までご相談ください。		